

缶サット甲子園 開催規則

<全体>

1. 全国大会は「理数が楽しくなる教育」実行委員会（以下、実行委員会と称す）が主催・運営を実施する。
2. 地方大会は実行委員会が承認した団体（以下、地方運営主体と称す）が主催・運営を実施する。実行委員会は後援を実施する。
3. 上記以外の全国大会・地方大会への協賛・後援・協力団体は、それぞれの運営主体が決定する。

<地方大会>

4. 地方大会の開催を希望する団体は、実行委員会事務局に様式1による申請を行う。
5. 地方運営主体は、様式1により提出した独自の判断基準に基づき、全国大会出場チームを決定することが出来る。ただし1地方大会からの全国大会への出場数は、実行委員会が決定します。（通常、全地方大会からの選出チーム数は同数とします）
6. 実行委員会は以下の条件を充たす団体に対し、地方運営主体としての承認を実施する。ただし申込み多数の場合には、地域性や開催条件・審査基準等を加味し、取捨選択を行う。
 - 実行委員会が定める期間内に地方大会を開催できること
 - 地方大会の開催に必要な事務処理能力・運営能力を有すること
 - 地方大会運営のための費用の自己負担が可能であること
 - 地方大会開催にあたり必要となる責任を負えること
 - 地方大会の開催にあたり、実行委員会の指導に従えること
7. 地方運営主体は独自の判断で、地方大会参加校に交通費支援等を行うことが出来る。ただし財源は運営主体負担とする。
8. 地方運営主体は他に以下の権利を獲得する。
 - 実行委員会が権利を有する缶サット甲子園に関するロゴ等の使用权
 - 実行委員会が実施する募集手段を用いた、地方大会への参加募集広告権
 - 全国大会開催候補地としての立候補権。ただし全国大会開催地としての条件を満たすこと。

<全国大会>

9. 全国大会は実行委員会事務局が運営を実施する。また開催地の地方運営主体およびその他実動する協力機関は、共催として運営を補佐する。
10. 缶サット甲子園競技参加チーム（以下参加チームと称す）のうち、地方運営主体から

推挙のあった参加チームは全国大会への出場権を得る。

11. 実行委員会は競技開催会場内において、参加チームに安全管理責任を負うが、開催会場迄の移動手段及び競技開催会場以外での行動には安全管理責任を負わない。
12. 全国大会は地方運営主体の立候補により、以下の条件を満たす箇所で開催する。開催地は実行委員会が決定するが、実行委員会は一地方に開催が偏らないように努力義務を負う。なお、以下の条件は 350m 程度飛翔するモデルロケットを使用することを前提として定める。
 - 半径 400m の保安距離を確保できること。
 - 缶サット・缶サットキャリアの自由落下予測範囲（ロケット発射点から半径 75m 以内）を安全距離として設定できること
 - 保安距離の内部にある建物・構造物・物品に関しては、万が一の自由落下事故の場合に破損してもその保障がされること。
 - 打上時に保安距離内に一般人が立ち入らないための対策が取れること。
 - 関係者が打上時に安全距離内に立ち入る場合は、十分な安全対策が取れること。
 - 缶サットが風で流された場合に発生した損害に対して、地方運営主体が交渉できること。
13. 全国大会では優勝・技術賞・ベストプレゼンテーション賞を定め、実行委員長名により賞を授与する。

<競技参加チーム>

14. 参加チームは全国の高校単位で募集する。1 チームは高校生 3 名とする。
15. 参加チームは様式 2 により実行委員会事務局に参加申請を行う。
16. 参加チームは全国のいずれか一つの地方大会に参加権を得る。
17. 実行委員会は全国大会への参加チームメンバー 3 名への旅費補助を実施する。また引率教員に関しては 1 名までの旅費補助を実施する。

以上

缶サット甲子園 地方大会 運営主体 申込書

「理数が楽しくなる教育」実行委員会 会長殿

平成 23 年 月 日

以下の要領にて、平成 23 年度缶サット甲子園地方大会運営主体としての申込みを行います。運営主体に選出された際には、缶サット甲子園開催規則に従い、運営に従事します。

運営主体名	団体 公印 (公印無き場合は不要)
責任者所属・役職 責任者氏名	印
開催地	
地方大会開催概要・ 全国大会参加チーム 選考方法	
予算源・概算金額	
従事者予定数	主体者側 名、アルバイト等 名
その他	